

平成 22 年度 IDE 大学セミナー

発達障害学生に対する学習・キャリア支援

～ 大学と社会の連携 ～

平成 22 年

11 月 8 日 (月)

13:00 ~ 17:20

※17:30 ~ 19:00 懇親会



----- 会場 -----

仙台ガーデンパレス

仙台市宮城野区榴ヶ岡 4 丁目 1 番 5 号

TEL: 022-299-6211

PROGRAM

基調講演:「発達障害学生の修学支援にかかわる現状と課題 ―東北大学における取り組みを踏まえて―」
 東北大学大学院教育学研究科 教授 川住 隆一 氏

講演1:「富山大学におけるトータル・コミュニケーション・サポート ～シームレスな社会参入支援の構築～」
 富山大学学生支援センター 准教授 西村 優紀美 氏

講演2:「障害のある学生の修学支援について ～障害学生の修学支援に関する実態調査と JASSO の取組～」
 独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部特別支援課長 荒木 昌美 氏

講演3:「大学から職業への移行支援の課題 ～高等教育を選択した事例が示唆すること～」
 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター 主任研究員 望月 葉子 氏

趣 旨:

平成 17 年 4 月に施行された発達障害者支援法において、「大学及び高等専門学校は、発達障害者の障害の状況に応じ、適切な教育上の配慮をするものとする」(第 8 条 2 項)と規定され、大学はじめ高等教育機関において発達障害のある学生の支援体制整備は、緊急の課題となっています。高等学校などに在籍し、発達障害の診断を受け、支援を得ながら学んできた学生が大学に入学してきている状況も報告されています。

また、学生相談に携わる教員や発達障害、臨床心理学の専門家から発達障害の疑われる学生の存在と共に特別の支援の必要性が指摘されるようになりました。実際、保健管理センターや学生相談所に来談する学生の中にも、その背景に発達障害をもち、授業への不適応や抑うつ、対人トラブルなどの問題を抱える者も少なくありません。周囲の友人や教師との適応や、将来の進路問題、周囲の理解や家族の受容など、発達障害者の自立や社会参加など生活全般にわたる支援が求められています。

既に発達障害を含めた学生の支援に対する取組みを構築し、コーディネーターを配置して全学的な組織で対応している大学や、LD、ADHD あるいは高機能自閉症等の学生への対応やアドバイスなど専門的な知識・技能を持つ教員が支援にあたっている事例も見られるようになりました。しかし、修学支援システムの構築にあたっては、多くの大学では手探りの側面がなきにしもあらずの状態です。

そこで本年度のセミナーは、前年度のセミナーの成果を踏まえて、発達障害学生に対する社会的自立、就職等の問題に対応するため、大学とともに関係団体を含めた社会全体による支援の方策について、専門家のご意見を伺い、大学における修学支援等の課題について議論したいと考えております。

○ 参加者の推薦、募集及び決定:

参加を希望される方は別紙「参加申込書」によりお申し込み願います。郵送またはファックスでお申し込みください。
 また、申込書の記載事項をお書きいただければ、メールでお申し込みいただいても構いません。

○ 募集締切:平成 22 年 10 月 27 日 (水) 到着分まで

○ 参加者の決定:事前にお申し込みいただければ参加いただけますが、お申し込み多数にて参加いただけない場合は、その旨通知いたしますのでご了承願います。

○ 参加費用:

- (1) セミナー参加料は無料ですが、セミナー参加に係る交通費、宿泊費等は全て参加者のご負担とさせていただきます。
- (2) 懇親会に出席される方は、会費 3,000 円を当日会場にて申し受けます。

□ 連絡先・ご参加お申込先:

IDE 大学協会東北支部事務局 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1

▽TEL: 022(217)4852 ▽FAX: 022(217)4854 ▽E-mail: t-yama@bureau.tohoku.ac.jp

主 催: IDE 大学協会東北支部/東北大学高等教育開発推進センター

TOHOKU
UNIVERSITY

参 加 申 込 書

平成22年度IDE大学セミナーへの参加を申し込みます。

大学等名

ふりがな 氏 名			男 女	才
学部名 及 び 職 名		専門分野		
連 絡 先	〒			
	TEL () ※平日9:00～19:00の間で連絡をとれる場所をご記入願います。			
懇 親 会 へ の 参加について	参加する 参加しない ※懇親会費3,000円は、当日受付にていただきます。			